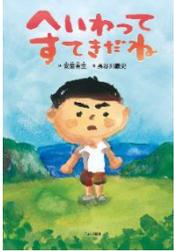


小学部通信9月号



9月2日(月)から、2学期が始まりました。まだまだ厳しい残暑が続いていますが、子供たちは徐々に学校生活のペースを取り戻しながら、日々の学習を頑張っています。

8月9日(金)に、平和学習をしました



学習で使用した絵本と紙芝居



夏休みの登校日、8月9日(金)に、平和学習を行いました。

1年生～4年生は、平和についての絵本「へいわってすてきだね」の読み聞かせをした後、ぼく(私)の好きなことを魚の形のカードに書いて貼り、大きな海の掲示を作りました。5・6年生は、長崎に原爆が落とされたときのことを描いた紙芝居「瞳の中の子どもたち」を見ました。難しい内容ではありましたが、子供たちは、真剣に聞くことができました。学習の最後には、平和な毎日が続くことを願いながら、「青い空は」を歌いました。



1～4年生制作の掲示



リアルいのちの学習

長崎っ子の心を見つめる教育週間で、それぞれの学年が命を大切にする学習を行っているときに、小学部で育児休暇をとっている職員が、お子さんを連れて来てくれました。学習で、赤ちゃん人形を抱っこしたり、自分が生まれたときの話を聞きたいと思ったばかりの子供たちは、興味津々。赤ちゃんを笑顔で取り囲んで、「かわいい」と言いながら優しく触れたり、喜ばせようとおもちゃを持ってきて見せたりしていました。



夏休み作品展がありました

9月9日(月)～13日(金)の1週間、虹のホールで、作品展がありました。工夫を凝らした個性豊かな作品ばかりで、学校公開に来られた保護者や外部の方も、熱心に見学されていました。

